

## 藤野家住宅だより

第1号

令和3年6月6日

例年になく早い梅雨入りとなりましたが、皆さまにはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は、藤野家住宅にご支援、ご協力いただき誠にありがとうございます。

この度、藤野家住宅の「いま」を知っていただけるようにと、「藤野家住宅だより」を発行する運びとなりました。不定期ではありますが、藤野家住宅の詳細や活動を皆さまにお届けしたいと願っています。

◇赤く色づくもみじ!?



表通りから見えるもみじの木が、なんと初夏なのに紅葉しています。何と言う名前か知りませんが、一般的なイロハモミジとは種類が異なるのかもしれませんが。

◇夏のお軸

表玄関として使っています四畳半の間は、お茶室を兼ねた数寄屋風の造りになっています。床の間には四季それぞれにふさわしいお軸を掛けています。



現在は夏用で、「一溪水潺潺」と読みます。「潺潺」は流水の音と言う意味です。これは先代当主藤野正二が晩年、東福寺で後に管長となる福島慶道師のもとで禅を勉強していた縁で、僧堂開堂の記念にいただいた同師揮毫の書です。春・夏・秋・冬と無季の5枚があります。

◇理事会と評議員会を開催しました。

令和2年度の事業報告並びに決算、令和3年度の事業計画並びに予算を承認いただきました。

※手探り状態で始めました「藤野家住宅だより」ですが、ご満足いただけましたでしょうか？これからもできるだけタイムリーな情報をお届けしたいと思っています。お読みになっての、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

一般財団法人藤野家住宅保存会  
理事長 藤野 正弘